

## 「性に関する指導」指導者研修会報告

養護教諭 奥山弘子

1 研修趣旨 性に関する指導についての認識を深め、学校の教員の資質向上を図り、性に関する指導の充実に資する。

2 主 催 秋田県教育委員会

3 日 時 平成 24 年 7 月 2 日(月) 10:00 ～ 16:00

4 内 容

(1) 説明 「性に関する指導に対する秋田県の取り組みについて」

秋田県教育庁保健体育課 指導主事 佐藤阿貴子

性教育講座を実施した学校でのアンケート調査の結果、「生徒と教職員の知識の深まりにつながった。教職員においては、性に関する指導の重要性を再認識する機会となった。生徒の意識変容がよい方向に見られた。」等、各校において成果があり、講座を毎年開催したいという要望が多数あった。一方、「生徒の実態や発達段階にあった内容、講座の位置づけ等、講師との事前打ち合わせが不足していた学校があった。取り組みが単発的に終わってしまった。」等の課題も見られた。

(2) 講義 「性教育講座について」

秋田赤十字病院 総合周産期母子医療センター センター長 平野秀人

(3) 講話 「青少年の問題行動について」

秋田県警察本部生活安全部少年課 少年補導職員 伊岡森しのぶ

(4) 分科会協議 テーマ『ステップアップ「性に関する指導」の充実にについて』

・情報が先行している今日、SEXは、悪者なのかどうか、正しい知識を与える方法やタイミングが重要である。・性教育を効果的に実施するといっても得策はないのではない。地道に、分かりやすく、根気強く行うことが大事である。夏休み前に行うという高校が多いが、付け焼き刃ではいけない。心に響く指導をするにはどうすればよいか重要である。等多くの意見が出された。

5 感想

分科会協議では、ステップアップ「性に関する指導」について各学校の取り組みが話され、産婦人科医による性教育講座に限らず、警察関係者による性非行防止等の生徒指導講話、LHRでの保健体育教師や養護教諭による指導等、参考となるものもあった。

本校も毎年夏休み前に性教育講座を行い、性に関する正しい知識を身につけることにより、自己判断の上、的確な行動がとれるようになってもらいたいと考えているが、その場限りとならないよう、いろいろな場面をとおして繰り返し指導していく必要性を感じた。